

2学期スタート！今日は関東大震災100年です。

校長 松本 雅史

長かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。

この夏休みの間に校庭にグリーンダストをまきました。これまでより水はけも良く、ほこりも立ちにくいということです。体育館への渡り廊下もペンキを塗り直していただくなどきれいになりました。体育館にエアコンが設置されましたが、使えるのは、来年になってからだそうです。

さて、今日9月1日は、「防災の日」です。今から丁度100年前のこの日に、関東大震災が起きました。起きた時刻は11:58で、ちょうどお昼ご飯の仕度の時間と重なったこともあり、各地で火災が発生しました。火はまたたく間に広がりました。この地震によって10万人以上の方が亡くなりました。家を失った人々は、広場などに逃げました。その中でも一番の悲劇は、墨田区の軍服工場「被服廠」の跡地でおきました。東京ドーム2個分という広い広場に4万人もの人が逃げました。そこを広場の周りで起きた火事の炎が竜巻のようになって襲ったのです。そこに逃げ集まった人たちのほとんどが焼け死んでしまいました。この地震の反省から、日頃から地震が起きたときどういう行動を取ればいいのかを学校でも学ぶようになりました。地震といえば、今年の2月に起きたトルコ・シリアの震災で被災し、未だにテント生活を余儀なくされている方々は200万人と報じられています。小平市の人の数が19万人ですから、小平市約10個分になります。一日も早い復興をお祈りせずにはられません。

希望溢れる2学期のスタートが災害の話で始まってしまいました。しかし、どんな大変なことが起きても、人々はそれを乗り越えて、今の暮らしをつくってきました。みんなの知恵と努力と優しさでつくってきたのです。この「知恵」と「努力」と「優しさ」を学ぶのが学校です。ともに励まし合い、支え合うことを学ぶのが学校です。

2学期は、運動会や音楽会など行事が多い学期でもあります。まず、一人一人が目標をしっかりと立てましょう。そして、元気にチャレンジして、ぐんぐん成長する学期にしていきましょう。まだまだ暑さが続くようですから、熱中症にはくれぐれも気を付けて、健康に過ごしましょう。

これで、2学期始業式の話が終わります。